

## 症状観察用語集

..... ( Terminology for cage-side observation in animals )

Code	局 所 的 症 状	解 説
Q	口 Mouth	
Q 01	流涎 Salivation	<p>唾液の分泌過剰の状態、口の中が唾液で溢れている。あるいは口の周囲、下顎はそのために濡れている。</p> <p>被験物質の作用以外に被験物質の苦味（刺激性）によっても惹起される。刺激性によって惹起される流涎は概ね投薬直後にしか見られず、それ以外の流涎は、被験物質の自律神経への作用を示唆する。流涎はその量によって3段階に分け、口周辺にのみ流涎が見られるものを軽度とし、口から顎にまで流涎が及んでいる場合を中等度、さらに広がったものを高度とする。</p> <p>副交感神経の興奮等により生じる。イヌでは嘔吐の前駆症状として、また、条件反射的に起こることが多い。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル 程度、性状</p>
Q 02	嘔吐 Vomiting Emesis	<p>嘔吐運動によって、胃内容が吐出する場合。口から胃内容物を制止できずに駆出する状態で、消化管の運動障害の際に多く見られ、嘔吐中枢の興奮により生ずる。脳圧亢進、脳循環障害、消化管よりの刺激等が原因である。</p> <p>イヌ、サル 程度</p>
Q 03	口の周囲の汚れ Perioral smudge Smudge around mouth Staining around mouth Submandibular staining	<p>口の周囲が汚れているが、その原因（鼻汁、流涎、吐物等）が識別できないもの。汚れの種類も記録。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル 程度</p>
Q 04	吐血 Hematemesis	<p>血液の吐出及び溢出。</p> <p>口腔、食道、胃及び十二指腸から出血した血液の吐出及び溢出をいう。血液と確認されたもののみ、他は赤色の吐液とする。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル 程度</p>
Q 05	吐物 Vomitus	<p>血液性、泡状あるいは食物残渣の混ざった吐物等がある（血液が確認されない場合は赤色吐物）。</p> <p>イヌ、サル 程度、性状、色、色調</p>
Q 06	吐気 空吐 Retching Nausea	<p>胃内容が吐出されない嘔吐運動。</p> <p>嘔吐の前兆で、胃粘膜の刺激、炎症、腸疾患等、嘔吐中枢を直接又は反射的に刺激することによる。嘔吐運動の発生を予想させる特定の運動（流涎、舌なめずり、不安げな運動）を伴うこともある。</p> <p>イヌ、サル 程度</p>
Q 07	舌舐めずり Licking chops	<p>舌で口の周りを舐め回すこと。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル 程度</p>

Code	局 所 的 症 状	解 説
Q 08	咬 瘻 牙 関 緊 急 咬 筋 痙 攣 開 口 障 害	Trismus ----- 三叉神経障害等により、咬筋の痙攣で口が開か Grinding なくなる症状をいう。 Lockjaw  マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
Q 09	歯の過成長	Overgrown teeth ----- 歯が異常に成長した状態。 不正咬合あるいは粉末飼料摂取により、歯の摩 耗不足で生じることがある。 マウス、ラット、ウサギ 程度
Q 10	不正咬合 咬合異常	Malocclusion ----- 正常な噛み合わせができない状態。  マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
Q 11	歯の欠損 歯の破折	Loss of teeth ----- 歯が歯髄から抜けたりまたは折れた状態。 Crushing of teeth  マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 数
Q 12	歯の変色	Discoloration of teeth - 被験物質などによって歯の色が変わったもの。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度、色、色調
Q 13	歯肉腫脹	Epulis ----- 歯肉に生じた比較的硬い腫脹。 豚、サル 程度
Q 14	歯肉の出血	Gingival bleeding ----- 歯肉からの出血。 歯石の集積、歯槽骨膜炎、齦歯の他、栄養不良、 感染症、ビタミン欠乏症、重金属中毒時に生ず る。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
Q 15	歯肉の褪色	Gingival discoloration - 貧血状態などの時に歯肉が褪色化する。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
Q 16	口臭	Halitosis ----- 口腔、上気道、食道、胃等の疾患に由来するが その他呼吸器疾患によっても起こる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
Q 17	舌の変色	Discoloration ----- 貧血、チアノーゼ、末梢血管拡張等、被験物質 of tongue による着色、炎症による発赤等に起因する。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 色、色調
Q 18	舌の乾燥	Dryness of tongue ----- 正常の舌は湿っているが、脱水状態、唾液分泌 Dry tongue 抑制等のとき乾燥状態になる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル
Q 19	舌苔	Coated tongue ----- 舌表面（上面とくに中央部）に付着する上皮の 成分の堆積。口腔内乾燥を起こす場合、消化器系 疾患等に伴う。 豚、サル
Q 20	舌の萎縮	Atrophy of tongue ----- 舌を支配する運動神経の麻痺に伴って、筋萎縮 が起こる。萎縮した舌は薄く、小さくなり、表面 が凹凸になる。二次ニューロンの障害では萎縮に 線維性収縮を伴う。 豚、サル 程度
Q 21	舌の腫脹 巨大舌	Swelling of tongue ----- 甲状腺機能低下症での粘液水腫やアミロイドー Enlargement of tongue シスの際に見られ、また炎症を起こした場合も腫 Macroglossia 脹が観察される。 豚、サル 程度

Code	局 所 的 症 状	解 説
Q 22	舌の表面平滑 Smooth surface of tongue	舌乳頭の萎縮による。しばしば発赤を伴う。 ビタミンB <sub>12</sub> 欠乏症など栄養障害で見られる。 Ⅰ、Ⅲ 程度
Q 23	舌のびらん 舌の潰瘍 Erosion of tongue Ulcer of tongue	被験物質の影響で舌や口腔粘膜のびらんあるいは潰瘍を生じることがあるが、他に熱性疾患や消化器障害などの全身異常のある時にも生じる。 Ⅰ、Ⅲ 程度、Ⅳ
Q 24	舌の創傷 Wound of tongue	自己の歯で損傷することが多いが、その原因になるのは、頻回の咳、嘔吐あるいは間代性の痙攣等である。投与の際の外傷も時折発生する。 Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ、Ⅹ 程度
Q 25	口蓋の腫脹 Swelling of palate	口腔内の炎症等の際に口蓋粘膜が腫れた状態。 Ⅰ、Ⅲ 程度
Q 26	口蓋の褪色 Discoloration of palate	貧血、血圧低下など局所血液循環の変化により口蓋の色調が赤味がかかった状態から蒼白になること。ただし、イヌの場合、口蓋が黒色のことがあり、判断できない場合がある。 Ⅰ、Ⅲ 程度
Q 27	口蓋の損傷 Wound of palate	投与操作、かむなどの物理的影響によって口蓋が傷つくこと。口蓋裂が生じた場合には鼻孔から出血がみられることもある。 Ⅰ、Ⅲ 程度
Q 28	咽頭の腫脹 Swelling of pharynx	炎症、反復する嘔吐、咳等の際に咽頭が腫れること。発赤を伴う場合もある。 Ⅰ、Ⅲ 程度
Q 29	咽頭の褪色 Discoloration of pharynx	貧血、血圧低下等の局所血液循環の変化により咽頭の色調が赤味がかかった色から蒼白になること。 Ⅰ、Ⅲ 程度
Q 30	咽頭の損傷 Wound of pharynx	硬い固形の物質の嚥下または嘔吐等の物理的影響によって咽頭が傷つくこと。 Ⅰ、Ⅲ 程度